

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：情報処理科/システム運用コース

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	データベース演習(SQL)Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
2	Java文法Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
3	Java文法Ⅱ	1	30	2	必修	講義	無
4	Java演習Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
5	Java演習Ⅱ	1	30	2	必修	実習	無
6	ホームページ	1	30	2	必修	実習	有
7	セキュリティⅠ	1	30	2	必修	講義	有
8・9	ハードウェアⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	無
10	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
11	アルゴリズム	1	30	2	必修	講義	無
12	ネットワークⅠ	1	30	2	必修	講義	有
13	ネットワークⅡ	1	30	2	必修	講義	有
14	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	有
15	表計算基礎Ⅰ	1	30	2	必修	実習	有
16	Office実務	1	60	4	必修	実習	有
17	経営	1	30	2	必修	講義	有
18	J検/ITパスポート対策	1	30	2	必修	講義	無
19	ITパスポート対策	1	30	2	必修	講義	無
20	基本情報対策	1	30	2	必修	講義	有
21	基本情報科目A対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
22	基本情報科目B対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
23	MO S対策Ⅰ	1	30	2	選択	実習	無
24	MO S対策Ⅱ	1	30	2	選択	実習	無
25	基礎学力Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
26	基礎学力Ⅱ	1	30	2	選択	講義	無
27	一般常識	1	30	2	必修	講義	無
28	基礎英語Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
29	就職対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
30	就職対策Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
31	ビジネスマナー	1	30	2	必修	講義	有
32	体育実習Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
33	課外活動Ⅰ	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	データベース演習(SQL) I		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
DBとDBMSの基本機能を理解する。 またSQLの基本文法を理解し、SQLを用いたデータ操作ができることを目標とする。																					
【講義概要】																					
教科書、プロジェクタ、プリントを使用しDBの基本知識を身につけつつ、xamppを用いてMySQLによるSQL演習（SQLエディタとしてA5M2を使用）を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	DBのイメージ、DB体験(成績管理アプリとDBサンプル)																				
2	関係モデル、射影、選択、結合																				
3	ER図、主キー、外部キー																				
4	正規化																				
5	DBMS(保全・機密・障害回復)																				
6	DB定義、テーブル定義、ビュー定義、アクセス権定義																				
7	中間試験																				
8	SQL演習(ハンバーガーショップ用DB環境構築・4大命令(SELECT文・UPDATE文・DELETE文・INSERT文))																				
9	SQL演習(操作対象の絞り込み(WHERE句、条件式、比較演算子))																				
10	SQL演習(検索結果の加工(DISTINCT句、ORDER BY句))																				
11	SQL演習(集計関数とグループ化(GROUP BY句・集計関数))																				
12	SQL演習(副問い合わせ(単一行・複数行・表))																				
13	SQL演習(テーブル結合(内部結合))																				
14	SQL演習(テーブル結合(外部結合))																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
ITワールド(インフォテックサーブ)、スッキリわかるSQL入門																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	Java文法 I		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Javaの基本文法（変数、データ型、制御構文、配列、メソッド）を理解し処理の流れを考えながら簡単なプログラムを自力で作成できる。																					
【講義概要】																					
教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、実機でコーディングとコンパイル実行を行い理解を深める。また理解した文法や仕組みを使う力を高めるために演習課題を実施し、提出を必須とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Javaプログラムの基本構造																				
2	変数宣言とデータ型																				
3	式と演算子																				
4	条件分岐(if文、switch文)																				
5	繰り返し(while文、do-while文、for文)																				
6	まとめ																				
7	中間試験																				
8	配列																				
9	拡張for文																				
10	メソッド① 定義																				
11	メソッド② 引数の利用（実引数：値、変数、配列）																				
12	メソッド③ 戻り値の利用（値、変数、配列）																				
13	オーバーロード																				
14	総まとめ																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
「スッキリわかるJava入門 第4版」(インプレス)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Javaのオブジェクト指向という考え方を理解し、「継承」「抽象クラス」「インタフェース」「多態性」「カプセル化」の仕組みを利用したプログラミング方法を習得する。																					
【講義概要】																					
教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、実機でコーディングとコンパイル実行を行い理解を深める。また理解した文法や仕組みを使う力を高めるために演習課題を実施し、提出を必須とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	オブジェクト指向																				
2	クラス①																				
3	クラス②																				
4	継承①																				
5	継承②																				
6	まとめ																				
7	中間試験																				
8	多態性①																				
9	多態性②																				
10	カプセル化①																				
11	カプセル化②																				
12	コレクション																				
13	例外																				
14	総まとめ																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
「スッキリわかるJava入門 第4版」(インプレス)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Java演習 I		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Javaの基本文法（変数、データ型、制御構文、配列、メソッド）を理解し処理の流れを考えながら簡単なプログラムを自力で作成できる。																					
【講義概要】																					
教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、実機でコーディングとコンパイル実行を行い理解を深める。また理解した文法や仕組みを使う力を高めるために演習課題を実施し、提出を必須とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Javaプログラムの基本構造																				
2	変数宣言とデータ型																				
3	式と演算子																				
4	条件分岐(if文、switch文)																				
5	繰り返し(while文、do-while文、for文)																				
6	まとめ																				
7	中間試験																				
8	配列																				
9	拡張for文																				
10	メソッド① 定義																				
11	メソッド② 引数の利用（実引数：値、変数、配列）																				
12	メソッド③ 戻り値の利用（値、変数、配列）																				
13	オーバーロード																				
14	総まとめ																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
「スッキリわかるJava入門 第4版」(インプレス)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Javaのオブジェクト指向という考え方を理解し、「継承」「抽象クラス」「インタフェース」「多態性」「カプセル化」の仕組みを利用したプログラミング方法を習得する。																					
【講義概要】																					
教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、実機でコーディングとコンパイル実行を行い理解を深める。また理解した文法や仕組みを使う力を高めるために演習課題を実施し、提出を必須とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	オブジェクト指向																				
2	クラス①																				
3	クラス②																				
4	継承①																				
5	継承②																				
6	まとめ																				
7	中間試験																				
8	多態性①																				
9	多態性②																				
10	カプセル化①																				
11	カプセル化②																				
12	コレクション																				
13	例外																				
14	総まとめ																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
「スッキリわかるJava入門 第4版」(インプレス)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	ホームページ		荒川 宇之輔	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ウェブサイトやウェブサービス構築のための基本技術としてのHTMLおよびCSSを学び、レスポンシブデザインによるマルチデバイスに対応させたコーディングを行えることを目標とする。																					
【講義概要】																					
ウェブページの構造を理解し、環境構築、デザインカンパからHTMLおよびCSSを用いてPC用およびスマホ用のコーディング（レスポンシブ）を行う。夏季課題中に課題レポートを行う。教科書は主に予・復習、課題用に用いるため、毎回の持参は必須としない。必要時のみ指示する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ウェブサイト制作のための環境構築。エディタの使い方、HTMLの基礎。																				
2	見出し、段落、リスト																				
3	ボックスモデル、ナビゲーションの仕組み																				
4	相対パス、絶対パス、リンクの作成																				
5	画像の種類、全面に配置する画像																				
6	テーブルを使ったレイアウト																				
7	フレックスボックス、ポジション																				
8	CSSアニメーションについて																				
9	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる① レスポンシブ対応など																				
10	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる② ウェブフォントの活用など																				
11	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる③ 外部サービスの活用など																				
12	PC用のペラ物のカンパを元にコーディングしてみる①																				
13	PC用のペラ物のカンパを元にコーディングしてみる②																				
14	課題レポート																				
15	課題ウェブサイト制作																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>60%</td> <td></td> <td>20%</td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		20%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		20%	20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
20年以上、ウェブデザイナー、プログラマーとして幅広いウェブサイトの企画、開発、運用に従事。他、様々なデジタルコンテンツの制作に従事。また、複数の専門学校や企業においてウェブ全般の講師業に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	セキュリティ I		村上 浩紀	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用

【講義概要】

IT初学者として情報セキュリティの知識を習得する必要性および重要性を理解する。セキュリティインシデント事例を基に予防と対応のための基礎知識を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティとは、サイバーセキュリティ、CSIRT、サイバー攻撃
2	マルウェア、情報セキュリティの守り方のポイント、ソーシャルエンジニアリング
3	攻撃、踏み台、犯罪、ボット、IoT
4	情報セキュリティの要素:パスワード
5	情報セキュリティの要素:無線LAN
6	情報セキュリティの要素:Web・メールを安全に利用する
7	中間試験
8	情報セキュリティの要素:暗号化
9	情報漏えい、インシデント
10	スマートフォン・パソコンのセキュリティ設定
11	攻撃を受けた時の対処、情報セキュリティ監査の資格
12	情報リテラシー:SNS
13	情報リテラシー:違法行為、不正行為、子供を守る
14	情報リテラシー:屋外・海外でのシステムの利用、大災害・テロに備える
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%		20%	30%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

- (1) ITベンダー勤務、クラウドアーキテクト
- (2) 情報セキュリティ製品および認証系エンジニアとしての業務経験
- (3) 情報セキュリティの取り組み支援および講演、演習などの実務経験

【教科書・参考文献】

NISC:「インターネットの安全・安心ハンドブック」 Ver5.10 (令和7年3月11日版)
 参考文献:ネットワークセキュリティ (オーム社) <https://shop.ohmsha.co.jp/shopdetail/000000004922/>
 参考文献:暗号技術入門 (SBクリエイティブ) <https://www.sbcr.jp/product/4797382228/>
 参考文献:ITワールド(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ハードウェアⅠⅡ		井元 和彦	無	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。							
【講義概要】							
コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／2進数から10進数への変換						
2	10進数から2進数への変換／2進数と8進数・16進数間の変換						
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数その1						
4	固定小数点数その2／シフト演算						
5	浮動小数点数、誤差						
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置						
7	中間試験						
8	アドレス指定方式、BCD						
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）						
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形						
11	フリップフロップ、ビット演算						
12	メモリの高速化、プロセッサの高速化						
13	補助記憶装置						
14	総まとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	20%				100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ソフトウェア		坂東 佑一	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験の範囲を中心に、コンピュータ科学の基礎、ソフトウェアの基礎を理解する。浅く広く知識を習得することを目指す。							
【講義概要】							
可能な限り過去問演習時間を多く取り、基本情報技術者試験の問題に慣れてもらう。なお、テーマの順番は若干前後する場合がある。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報処理システムの処理形態						
2	高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価1						
3	情報処理システムの評価2、ヒューマンインターフェース1						
4	ヒューマンインタフェース2、マルチメディア						
5	ソフトウェアの分類、オペレーティングシステム1						
6	オペレーティングシステム2						
7	中間試験☒						
8	オペレーティングシステム3						
9	プログラム言語と言語プロセッサ						
10	ファイル1						
11	ファイル2						
12	データベースの概要1						
13	データベースの概要2						
14	データベースの概要3、いろいろなデータベース						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・授業中の挙手等、積極的な授業参加には別途大きく加点する 						
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上							
【教科書・参考文献】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ITワールド(株式会社インフォテックサーブ) ・[令和8年度]基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集 (インプレス) 							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
プログラミングにおいて処理の基本となるアルゴリズムの基礎を学習する。																					
【講義概要】																					
教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、フローチャートの記載やトレース結果を考えることで理解を深める。授業ごとに演習課題を実施し、提出を必須とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	アルゴリズムとは、フローチャート																				
2	基本構造（順次、分岐、くり返し）																				
3	変数と定数																				
4	カウンタ、集計																				
5	二重ループ																				
6	複合条件																				
7	中間試験																				
8	フラグ/スイッチ																				
9	データ構造（スタック、キュー）																				
10	配列																				
11	多次元配列																				
12	文字列																				
13	探索（線形探索）																				
14	探索（二分探索）																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
「はじめてのアルゴリズム」(インフォテックサーブ) 「ITワールド」(インフォテックサーブ)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ネットワーク I		石川 章	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<ul style="list-style-type: none"> ・通信回線の基礎技術からイーサネットまでを習得する。 ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る能力を養成する。 							
【講義概要】							
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をベースに各項目について説明する。 ・演習問題による知識の確認を行う。 							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ネットワークの歴史と基礎知識						
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網						
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網						
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATVなど						
5	データ伝送の実際：文字コード、データ伝送方式、誤り制御						
6	通信回線の計算：データ伝送時間や通信速度などの計算						
7	前半の復習と補足						
8	中間試験						
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出						
10	マルチメディア：静止画、音声、動画のデータ形式、圧縮技術						
11	イーサネット1：イーサネットの基礎技術						
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器						
13	通信プロトコルとOSI基本参照モデル						
14	後半の復習と補足						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%		30%			100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
<ul style="list-style-type: none"> ・通信会社、ISP、セキュリティベンダーなどで20年以上の勤務経験があります。 							
【教科書・参考文献】							
ITワールド、演習問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ネットワークⅡ		石川 章	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。

【講義概要】

- ・テキストをベースとした各項目の説明。
- ・演習問題による知識の確認。

回	授業計画及び学習の内容
1	IPアドレス
2	TCP/IP(1):主にIPプロトコル、ルーティングなど
3	TCP/IP(2):主にTCP、UDPプロトコル、ポート番号など
4	サーバ(1):サーバの役割、Webとメールサーバ
5	サーバ(2):サーバの応用技術、その他サーバ
6	前半の復習と補足
7	中間試験
8	インターネット関連技術:DNS、DHCP、ARP、NAT、NAPT
9	暗号:暗号の基礎技術全般
10	セキュリティ技術:暗号の応用技術(SSL、VPNなど)、認証技術
11	マルウェア・ファイアウォール
12	サイバー攻撃:その他の脅威と対策
13	無線LAN・IPv6
14	後半の復習の補足
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	70%		30%			100%

(補足)

授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

- ・長年通信会社に勤務していたため電話～インターネットなど通信全般に関する広い知識を有しています。

【教科書・参考文献】

- ・ITワールド
- ・演習問題(別途配布)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門	必修	文書編集基礎		佐藤 薫	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Wordを使用して文書編集の機能を理解し、定型のビジネス文書や表や図入りの案内書を効率よく作成できるようになることと、長文の文書の編集方法を習得することが目標。入力速度の向上も目指そう(最低でも400字以上/10分)。																					
【講義概要】																					
各機能の操作説明をよく聞き、操作方法を理解してから実習課題を1、2問作成する。最後に文書の仕上がりを確認することも大切。不明点があれば積極的に聞いて文書作成の基礎を身に着けよう。授業中にできなかった必須課題は仕上げて、必ず提出すること。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Word画面の名称、新規文書の作成、入力の基礎、ファイル保存と提出方法																				
2	文字の移動・コピー、文書の表示方法、ビジネス文書のルール																				
3	ページ設定、文字の書式、文字の配置																				
4	箇条書きと段落番号、行間の設定、文書の印刷																				
5	練習問題（ビジネス文書の作成）																				
6	表の作成と編集																				
7	表のスタイル変更、段落に引く罫線																				
8	図形の挿入と編集																				
9	グラフィックの挿入と編集（図、SmartArt、ワードアート）																				
10	練習問題（表やオブジェクトのある文書の作成）																				
11	文書のレイアウト機能（タブ、段組み、ヘッダー・フッター）																				
12	文書のレイアウト機能（ページの背景、テーマ）／ 練習問題（レイアウトを工夫する文書の作成）																				
13	長文作成に役立つ機能（スタイル、目次、検索と置換）																				
14	まとめ																				
15	まとめ																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業中の必須課題は必ず仕上げて提出すること。授業時間以外に課す課題も必ず取り組むこと。																					
【教員紹介】																					
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOS試験やOffice関連の書籍の執筆も担当。																					
【教科書・参考文献】																					
世界一わかりやすいWordテキスト（技術評論社）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎 必修	実習	表計算基礎 I		龔 恵美子	有	2単位	30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの操作や関数の使用方法を理解し、基本的な表計算が行えるようになる。
また分かりやすいアウトプットの必要性を理解したうえで、計算結果をグラフで表現できるようになる。

【講義概要】

教科書に沿ってスライドによる解説を行いながら、実際にExcelを操作して確認させることで理解を深める。
授業ごとに演習課題を実施し、提出を必須とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの起動と終了、セル、列、行
2	データの入力と編集
3	ブックやシートの管理
4	表の作成
5	ページ設定と印刷
6	まとめ
7	中間試験
8	数式
9	関数 (SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT)
10	関数 (IF、IFS、ROUND)
11	関数 (VLOOKUP)
12	グラフの作成
13	複数ワークシートの管理
14	総まとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。
単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。

【教員紹介】

前職にてシステム開発業務に約20年従事し、社内でJavaの技術研修を行うなど育成業務にも携わる。

【教科書・参考文献】

「世界一わかりやすいExcelテキスト」 (技術評論社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	実習	Office実務		佐藤 薫	有	4単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
Excel、Wordを使用して、実務レベルの文書を効率よく作成するスキルを身に付けることを目標とする。Wordは、定型のビジネス文書、表、図、画像の編集、長文に役立つ機能を学習し、Excelは、応用関数、シート操作、集計、データ分析、グラフ、マクロの基礎（作業の自動化）までを学習する。							
【講義概要】							
1限目はExcel（教科書使用）、2限目はWord（プリントまたはPDF配布）を使用して、各テーマの課題を2～3問作成して提出する。機能説明をよく聞き、文書の目的を理解し、ビジネスシーンをイメージして課題を作成しよう。全体のバランスや仕上がり状態を確認することも重要です。Officeは必須のスキルです。必須課題は必ず操作して提出しよう。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Excel：表デザインの基本機能 / Word：ビジネス文書の基礎知識、文字位置を揃える機能（インデント、タブ）						
2	Excel：シートとセルの操作、条件付き書式 / Word：表のある文書作成と編集、印刷設定						
3	Excel：便利な機能（ふりがな、ファイル管理） / Word：レポート作成の機能（段落罫線、行や段落の間隔）						
4	Excel：基本関数を使いこなす / Word：レポート作成の機能（ヘッダーとフッター）						
5	Excel：結果をミスなく算出する関数 / Word：文書のレイアウト機能（セクション区切り、段組み）						
6	Excel：別の表から検索する関数 / Word：図形描画、画像の編集						
7	Excel：計算チェックに役立つ機能 / Word：情報の図解化（SmartArt、ワードアート）						
8	総合問題						
9	Excel：単純ミスを防ぐ機能（入力規則、名前の利用） / Word：ページの背景を設定する機能（透かし、ページ罫線）						
10	Excel：並べ替えとフィルター機能 / Word：長文に役立つ機能（検索、置換、ページ番号）						
11	Excel：データ分析（データテーブル、ピボットテーブル） / Word：文書へのExcelデータの貼り付け						
12	Excel：伝わるグラフ、見やすいグラフの作成、印刷設定						
13	Excel：作業の自動化（マクロの自動記録、コントロールの作成、VBAの基礎知識）						
14	まとめ						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	70%	10%		20%		100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の必須課題は必ず仕上げて提出すること。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。 					
【教員紹介】							
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOSとOffice関連の書籍の執筆も担当。							
【教科書・参考文献】							
Excel最強の教科書 完全版（SBクリエイティブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	経営		古郡 聡	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
現代のICT社会における企業の経営戦略・マーケティング戦略について、企業形態・経営組織から各種戦略について学習する。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。							
【講義概要】							
授業テーマごとにテキスト『IT戦略とマネジメント』に基づいて解説した後、毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企業活動の目的						
2	企業会計						
3	経営科学・オペレーションズリサーチ						
4	経営科学・IE分析技法						
5	経営科学・品質管理						
6	経営工学・業務分析						
7	中間試験						
8	法務と標準化						
9	経営戦略マネジメント(1)☒						
10	経営戦略マネジメント(2)☒						
11	技術戦略マネジメント						
12	ビジネスインダストリ (1)						
13	ビジネスインダストリ (2)						
14	情報システム戦略						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(要点のまとめ)	合計
割合		80%				20%	100%
(補足)		授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム開発業務に従事。企業のIT系研修及び情報系専門学校にて講師を担当。							
【教科書・参考文献】							
『IT戦略とマネジメント』(株)インフォテック・サーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	J検/ITパスポート対策		成田 与志子	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
(授業前半)受講者全員が、中間試験までに、情報検定(J検)情報活用試験3級に合格することを目指す。 (授業後半)受講者の半数以上が、8月末までに、ITパスポート試験に合格することを目指す。							
【講義概要】							
授業前半では、情報系分野の資格の中で最も易しい部類であるJ検3級の過去問演習を行う。過去2年連続で受講者全員が合格した実績がある。授業後半では、国家資格であるITパスポート試験の過去問演習を行い合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	J検過去問演習						
2	J検過去問演習						
3	J検過去問演習						
4	J検過去問演習						
5	J検過去問演習						
6	J検過去問演習						
7	中間試験						
8	ITパスポート過去問演習						
9	ITパスポート過去問演習						
10	ITパスポート過去問演習						
11	ITパスポート過去問演習						
12	ITパスポート過去問演習						
13	ITパスポート過去問演習						
14	ITパスポート過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	80%		10%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集 (SBクリエイティブ) ○ 過去問は授業中に配布する							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ITパスポート対策		成田 与志子	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	疑似言語						
2	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習						
3	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習						
4	ストラテジ システム戦略。 過去問練習						
5	ITパスポート 過去問題演習1						
6	マネジメント 開発技術。 過去問練習						
7	中間試験						
8	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習						
9	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習						
10	ITパスポート 過去問題演習2						
11	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習						
12	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習						
13	テクノロジー 技術要素。 過去問練習						
14	ITパスポート 過去問題演習3						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%		10%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集 (SBクリエイティブ) ○ 過去問は授業中に配布する							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報対策		龔 恵美子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験合格を目標とする							
【講義概要】							
過去問演習を通して合格に必要な力を身に着ける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	科目A対策						
2	科目A対策						
3	科目A対策						
4	科目A対策						
5	科目A対策						
6	科目A対策						
7	中間試験						
8	科目A対策/科目B対策						
9	科目A対策/科目B対策						
10	科目A対策/科目B対策						
11	科目A対策/科目B対策						
12	科目A対策/科目B対策						
13	科目A対策/科目B対策						
14	科目A対策/科目B対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、社内でJavaの技術研修を行うなど育成業務にも携わる。							
【教科書・参考文献】							
ITパスポート過去問題							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策 I		井元 和彦	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。毎回分野を限定した問題を解き、出題の傾向を把握するのに役立つ。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	過去問演習																				
2	過去問演習																				
3	過去問演習																				
4	過去問演習																				
5	過去問演習																				
6	過去問演習																				
7	中間試験																				
8	過去問演習																				
9	過去問演習																				
10	過去問演習																				
11	過去問演習																				
12	過去問演習																				
13	過去問演習																				
14	過去問演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当																					
【教科書・参考文献】																					
IPAが公開している過去問題、サンプル問題																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策 I		安藤 真理	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習																				
2	擬似言語 分岐と繰り返し																				
3	配列①、再帰																				
4	配列②																				
5	二次元配列																				
6	中間試験対策																				
7	中間試験解説																				
8	探索																				
9	リスト①																				
10	リスト②																				
11	木構造、ハッシュ表																				
12	整列①																				
13	整列②																				
14	期末試験対策																				
15	期末試験解説																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
【教科書・参考文献】																					
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026	1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
基礎専門 選択	実習	MOS対策 I		砂賀 勝己	無

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門	選択	MOS対策Ⅱ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
マイクロソフトMOS資格の対策講座。 原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。																					
【講義概要】																					
模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	<p>模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。</p>																				
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること</p>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合				100%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合				100%		100%															
【教員紹介】																					
<p>教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当</p>																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2026	1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

- ①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題（角度）
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ		佐々木 一仁	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる																					
【講義概要】																					
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)																				
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)																				
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)																				
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)																				
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)																				
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)																				
7	中間考査																				
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開																				
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)																				
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)																				
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根																				
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式																				
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法																				
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合																				
15	期末考査																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。																					
【教科書・参考文献】																					
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	一般常識		佐々木 一仁	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
①就職試験対策として必要な学力を身に付ける。				②就職試験の内容を理解し、就職活動に結び付ける。																	
【講義概要】																					
①一般常識 ②SPI ③その他の検査 など																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Lesson12, Lesson13, Lesson41		小テスト Lesson1																		
2	Lesson14, Lesson15, Lesson41		小テスト Lesson2																		
3	Lesson16, Lesson17, Lesson42		小テスト Lesson3																		
4	Lesson18, Lesson22, Lesson42		小テスト Lesson4, 5																		
5	Lesson23, Lesson24, Lesson43		小テスト Lesson6																		
6	Lesson25, Lesson26, Lesson43		小テスト Lesson7																		
7	中間試験																				
8	返却（解説） Lesson27, Lesson28		小テスト Lesson8																		
9	Lesson29, Lesson30, Lesson44		小テスト Lesson9																		
10	Lesson31, Lesson32, Lesson44		小テスト Lesson10																		
11	Lesson33, Lesson34, Lesson45		小テスト Lesson11																		
12	Lesson35, Lesson36, Lesson45		小テスト Lesson19																		
13	Lesson37, Lesson38, Lesson46		小テスト Lesson20																		
14	Lesson39, Lesson40, Lesson46		小テスト Lesson21																		
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
【教員紹介】																					
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。																					
【教科書・参考文献】																					
就職筆記試験対策問題集（ムゲンダイ出版）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎英語 I		Tope Salami	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。							
【講義概要】							
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で授業を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標						
2	Introducing Python						
3	Conversing with Python						
4	Writing a Program (Python Script)						
5	Writing a Program (Python Script) #2						
6	Review						
7	Mid term test						
8	Mid term review						
9	Create your first Program						
10	Create your first Program #2						
11	Comments and Errors #1						
12	Comments and Errors #2						
13	Variables						
14	Review						
15	Final test						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
	割合	100%					100%
	(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること						
【教員紹介】							
IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	就職対策 I		石井 眞木子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
<p>グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。 また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。</p>																					
【講義概要】																					
<p>企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。 また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。</p>																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ（価値観のワーク）																				
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解																				
3	働くことの意味、社会人との違いの理解																				
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」																				
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」																				
6	お金の話（給与＋残業代）																				
7	中間試験																				
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、SEの業務内容の理解																				
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等																				
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」																				
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと																				
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢																				
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践																				
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること</p>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		10%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%		10%	10%		100%															
【教員紹介】																					
<p>担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。</p>																					
【教科書・参考文献】																					
なし																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ		石井 眞木子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動の流れからソフトウェア業界の職種・会社選びの軸・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面接練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の説明を行う						
2	履歴書を作成する 「PREP法」を正しく理解する						
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いの自己PRを深める						
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いの学チ力を深める						
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する						
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
7	中間試験						
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う						
10	面接試験のロールプレイング その1						
11	面接試験のロールプレイング その2						
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する						
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（履歴書）	合計	
割合	80%			10%	10%	100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
東京電子専門学校キャリアセンター所属、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー		今村 朋子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。							
【講義概要】							
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばす。マナーが存在する理由を理解し、行動変容に繋げる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	仕事に取り組む心構え						
2	職場の人間関係・変動する社会に求められること						
3	話の仕方・話の聞き方 指示の受け方・報告の仕方						
4	敬語① 必要性の理解と基本的な使い方						
5	敬語② 間違いやすい敬語 応用編						
6	第一印象形成要素 身だしなみ、立位、お辞儀、着席の姿勢 歩行 等						
7	中間テスト						
8	電話対応の注意点 電話の受け方① 基本的対応						
9	伝言メモ 電話の受け方② 応用編						
10	電話のかけ方と注意点						
11	来客対応 受付・名刺の扱い方						
12	面会を断る場合 臨機応変な対応						
13	案内の仕方 席次の知識 見送り、後片付け						
14	他社訪問のマナー 総復習「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう						
15	期末テスト						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社							
【教科書・参考文献】							
「知っておきたい ビジネスのマナー」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習 I		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。</p>							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1日目、2日目）						
5							
6							
7	学園祭（1日目）						
8							
9							
10	学園祭（2日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動 I		情報処理科 担当教員	無	1単位 15時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

企業セミナーなど外部イベントへの参加や産学連携など、外部とのかかわりを通して将来のエンジニア像の理解を深め、また就活時に役立つ知識の習得などに取り組む。

【講義概要】

-

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	授業としての企業セミナーや企業見学、インターンへの参加など、授業の内容として認められるイベントなどへの参加
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-